

かわら版 富里市都市計画マスタープラン

vol.7

～富里市都市計画マスタープラン（素案）を作成しました～



01 みなさんとともに約2年間かけて検討してきた内容が素案として形になりました！

平成28年から検討をはじめた本計画が、ようやく素案として形になりました。11/2から素案の縦覧をしており、今後もみなさんのご意見を反映しながら、計画書として完成させていきます！

ペガサスプラン 21 富里市都市計画マスタープラン（素案）

序章 都市計画マスタープランの改定にあたって

■改定の目的

2002年（H14）に策定した現行の計画は、2020年（H30）を計画の目標年次として、道路や公園等の都市基盤整備によるまちづくりを進めてきましたが、策定から16年が経過し、目標年次を迎えようとしています。

本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、これらを踏まえた新たなまちづくりの方針を示すため、計画の見直しを行うこととしました。

■計画の構成



■目標年次

基準年次：2016年 目標年次：2036年

第1章 富里市の現状と課題

人口構造の変化に対応した持続可能なまちづくり

【社会情勢の変化】	【課題】
●人口減少・少子高齢化の進行	●市街地の空洞化対策と土地利用コントロール ●高齢化社会への対応 ●次世代を担う人材の確保

公共交通ネットワークによる人や環境にやさしいまちづくり

【社会情勢の変化】	【課題】
●自動車社会の更なる加速と公共交通網の縮小	●環境負荷の低減 ●交通移動手段の確保 ●次世代交通等も含めた公共交通のあり方の検討

協働による魅力あるまちづくり

【社会情勢の変化】	【課題】
●市民ニーズの変化 ●環境や景観への意識の高まり	●協働によるまちづくりの促進 ●環境や景観への配慮

地域資源を活かした活力あるまちづくり

【社会情勢の変化】	【課題】
●産業技術の進展による物流社会の加速 ●成田空港の機能強化に向けた動き	●農林業の担い手確保 ●加速する物流への対応 ●観光業の発展

都市基盤の維持・充実による暮らしやすいまちづくり

【社会情勢の変化】	【課題】
●広域幹線道路の充実 ●インフラ施設の老朽化	●交通渋滞の解消 ●コミュニティの希薄化への対応 ●バリアフリー化への対応 ●インフラ施設の適正な維持管理

災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくり

【社会情勢の変化】	【課題】
●自然災害の多発 ●防災意識の高まり	●災害リスクへの備え（減災を目指したまちづくり）

第2章 全体構想

■将来都市像と都市づくりの目標

将来都市像 未来へつつむぎ、輝き、はばたく
笑顔あふれるまち とみさと

- 目標1：持続可能で誰もが暮らしやすい自立したまちづくり
- 目標2：富里の人、自然、歴史・文化が輝く魅力あふれるまちづくり
- 目標3：広域交通の要衝を支え、未来へつなぐまちづくり

■将来都市構造

これからのまちづくりでは、地域の規模やまとまりに応じて、日常生活に必要な機能等を集約し、各拠点間を公共交通で結んだ「多極ネットワーク型コンパクトシティ*」を形成します。

＜拠点の方針＞

- 広域拠点**（富里市役所周辺・富里IC周辺・七栄地区周辺）
本市内外を結ぶ主要な拠点として都市機能の集積を図る
- 地域拠点**（日吉台地区・葉山地区）
日常生活に求められる機能の維持・充実を図る
- 生活拠点**（中沢地区、根木名地区、両国地区、実の口地区）
小学校区を単位としたコミュニティの維持に必要な機能の確保を図る
- 産業拠点**（富里工業団地、富里第二工業団地、酒々井IC周辺）
地域経済の活力の中心として、交通アクセスの向上や操業環境の維持を図る
- 交流拠点**（旧岩崎家末廣別邸周辺、新木戸大銀杏公園、旧洗心小学校等）
多くの人々が本市の自然や農業、歴史・文化にふれながら交流空間を形成する
- 都市的居住空間**（日吉台1丁目周辺・日吉倉松ノ木地区周辺）
鉄道駅の近接性と医療・商業施設等の集積を活かし、都市的な居住空間を誘導する
- 成田空港と一体的な土地利用を検討する地区**（大和・根木名地区）
成田空港の機能強化を追い風に定住促進や産業振興（企業誘致、観光振興等）を図る

■都市づくりの基本方針

●都市施設の主な方針

（道路）	（バス交通）	（公園緑地）
●居住環境や買物環境等の市民の生活環境の向上を図るため、市外から流入する大型車などの通過交通が市街地や生活道路を迂回できるよう幹線道路網の充実を図る。	●鉄道駅のない本市における重要な公共交通機関として、バス事業者など交通事業者や関係機関と連携しながら、高速バスや市内外を結ぶバス路線の維持・拡充を図る。	●緑豊かで良好な生活環境の形成、周辺環境との調和のとれた住み良いまちづくりに向け、生け垣緑化の推進や公共施設等の緑化推進などによる市街地緑化を促進する。

●都市環境の主な方針

●市民が誇りに思う市街地景観や、緑豊かな潤いと魅力あふれる景観を保全・形成していくため、景観行政団体として、景観計画の策定等に取り組む。

●都市防災の主な方針

●災害発生時に迅速かつ的確に対応できるように、避難所・避難場所の機能強化の推進、緊急輸送道路の指定とネットワーク化、防災に関する情報発信・周知等に努める。

●その他の主な方針

●今後増加が見込まれる空き家について、防災や防犯上の課題に対応するとともに、定住促進につながる有用な資産として有効利用するため、適正な維持管理に向けた支援を行う。

＜将来都市構造図＞

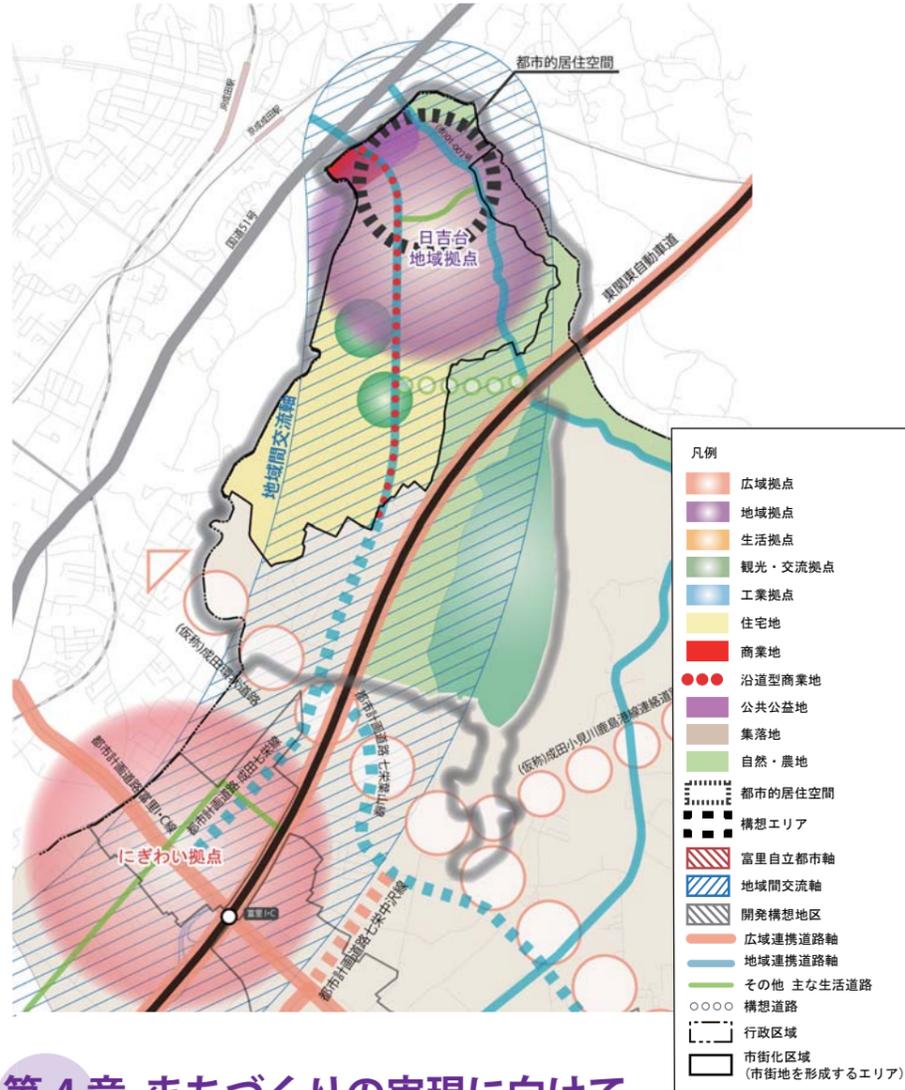


第3章 地域別構想

■北部地域

北部の みんなの笑顔を一につに！
目標 多くの人が集い、賑わう、活気あふれるまちづくり

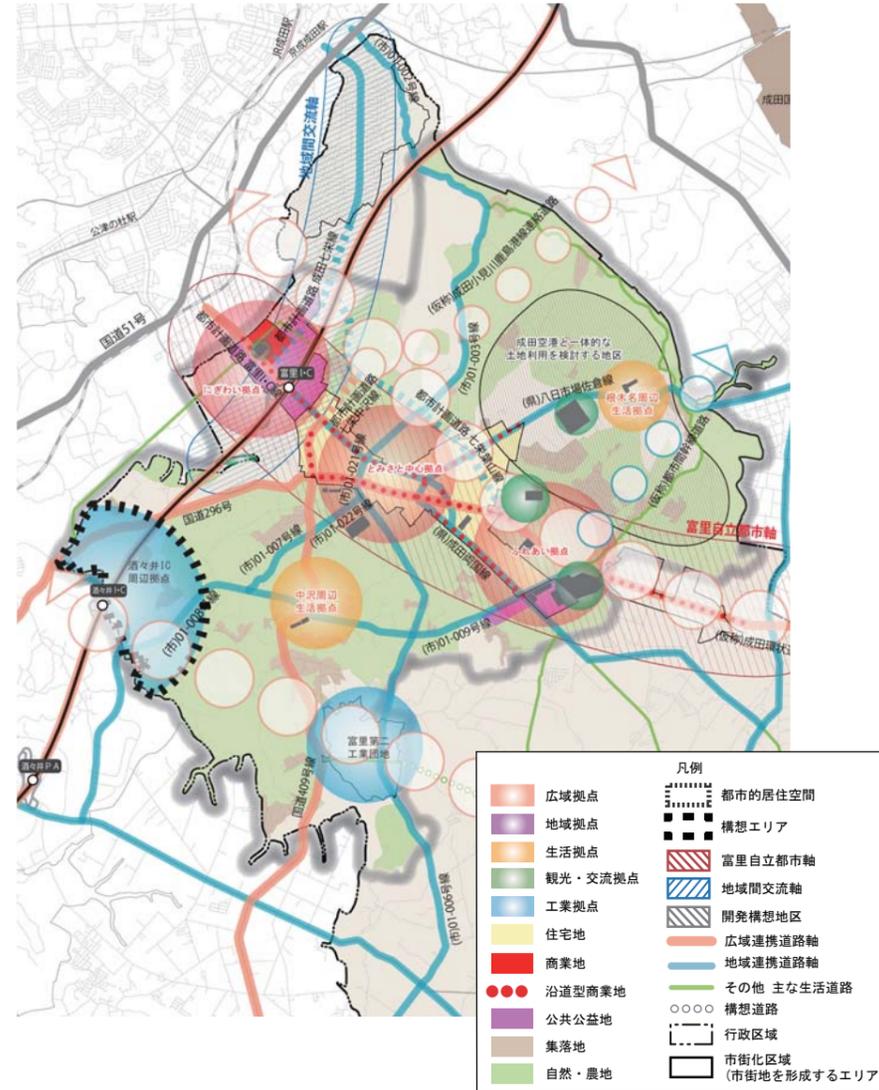
- 方針1：若者から高齢者まで誰もが住み続けたいと思える環境づくり
- 方針2：インフラ整備の促進による安全性・利便性の向上
- 方針3：既存施設等を活かした交流の場の充実



■中部地域

中部の さらになる高みを目指して！
目標 暮らしやすい、働きやすい、訪れたいまちづくり

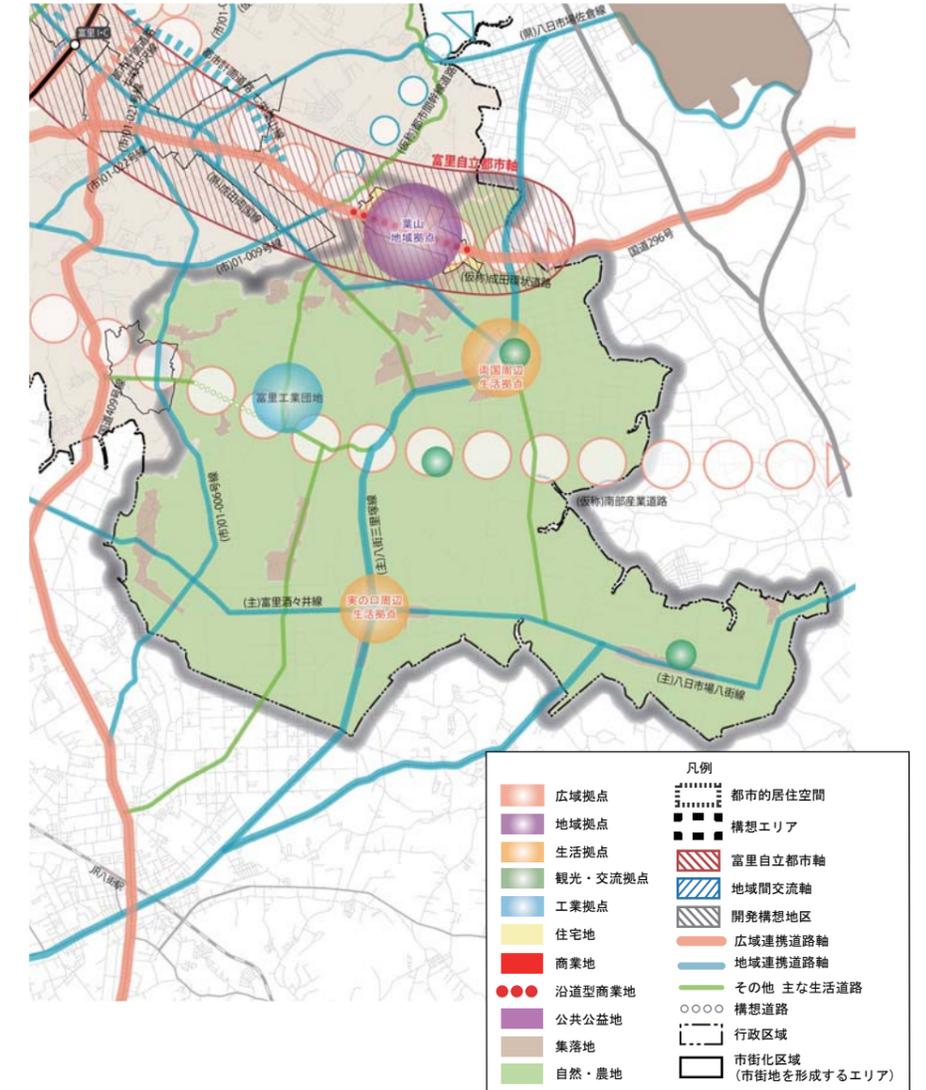
- 方針1：生活利便性向上に向けた拠点機能の充実と新たな拠点の形成
- 方針2：地域間のつながり強化に向けたアクセス性の向上、周遊促進
- 方針3：地域資源（歴史・文化資源、農地、空き家等）の有効活用



■南部地域

南部の 未来へ繋げる力を！
目標 人と大地が織りなす交流のまちづくり

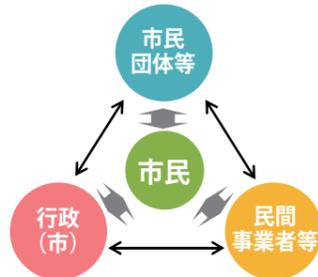
- 方針1：富里ブランドの開発と普及に向けた環境づくり
- 方針2：インフラ整備の促進による安全性・利便性の向上
- 方針3：既存施設の有効活用による地域の交流拠点の形成



第4章 まちづくりの実現に向けて

■まちづくりの推進体制

本市では、まちづくり方針の実現に向けて、市民を中心として、行政だけでなく、市民活動団体や民間事業者等を含めた協働によるまちづくりを進めていきます。



■計画の進捗管理と見直し

本計画の推進にあたっては、PDCAサイクルによって、評価を行い、適宜、見直し・改善を進めていきます。



都市計画マスタープラン	年度									
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2026	2031	2036	
基準年	2016→2036									
前計画の検証	計画策定	計画の執行	短期目標	計画の執行	中間検証1	計画の執行	中間検証2	計画の執行	長期目標	本計画の検証
			検証	一部改定	検証	一部改定	検証	一部改定		